

- 問1 近年、多くの自治体で被害予測地図（ハザードマップ）の作成と活用が進められています。この地図を住民が事前に確認しておく目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地域の標高や地形の起伏を正確に読み取り、大規模な商業施設や住宅地を建設するための適切な場所を選定するため。 | 2. 大気汚染や水質汚濁などの公害が発生している地域を特定し、国に対して環境改善のための対策を求める資料とするため。 | 3. 過去数十年間の人口移動や年齢構成の変化を分析し、将来の少子高齢化社会に向けた公共施設の再配置を検討するため。 | 4. 災害発生時の浸水域や土砂崩れの危険箇所を把握し、安全な避難経路や避難場所をあらかじめ確認しておくため。 |
|--|--|---|--|
- 問2 ある河川の周辺において、山地から平野への出口付近で等高線が山側に反り返るように同心円状に広がっている地形が見られます。この地形の「形成される場所」と「形成の仕組み」の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 川の屈曲部において、外側が削られ内側に土砂がたまって形成された。 | 2. 谷口において、流速が落ちることによって土砂が堆積して形成された。 | 3. 河口において、流速が落ちることによって細かい泥が堆積して形成された。 | 4. 海岸付近において、波の浸食作用によって土地が削られて形成された。 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|
- 問3 日本の海岸沿いに広がる埋め立て地は、標高が低く、地盤が弱いという地形的な特徴を持っています。このような土地において、台風の接近時や大規模な地震の発生時に想定される物理的な被害や影響の説明として、最も適切なものを選択してください。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 火山に近い場所が多いため、噴火による溶岩流や降灰による建物の倒壊が主なリスクとなる。 | 2. 強い風や気圧の変化による高潮の影響で、大規模な浸水被害が発生するリスクが高い。 | 3. 標高が高いため、地震の揺れによって大規模な土砂崩れが発生し、交通網が遮断される。 | 4. 森林が多いため、台風の強風によって倒木が発生し、それらが地滑りを引き起こす。 |
|---|--|---|---|
- 問4 日本の気候区分において、冬（1月や12月）の降水量が夏よりも多くなり、雪が多く降る特徴を持つ地域はどこですか。（2021年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 中央高地の気候 | 2. 太平洋側の気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 日本海側の気候 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問5 北海道や九州地方の地形を比較した資料の中で、火山活動に伴う陥没によってできた「カルデラ」についての説明として、その形成理由を正しく述べたものはどれか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|---|
| 1. 火山灰が広範囲に降り積もり、長い年月をかけて平坦な台地が形成された。 | 2. 川が山地から平地へ流れ出す地点で、運ばれてきた土砂が扇状に堆積して形成された。 | 3. 地殻変動によって土地が隆起し、その後、雨水や川の浸食を受けて平坦な面が残った。 | 4. 大規模な噴火によってマグマが噴出した後、地下の空洞が崩落して大きな窪地となった。 |
|---------------------------------------|--|--|---|
- 問6 河川が山地から平地に流れ出る谷口付近において、流れが急に緩やかになることで運搬されてきた土砂が堆積し、扇のような形に広がって形成された地形を何といいますか。（2023年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 扇状地 | 2. 台地 | 3. 三角州 | 4. 砂丘 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問7 山地と平地の境界付近において、谷の出口にあたる場所が土石流の危険箇所とされる理由について、そのメカニズムを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 急な谷を流下してきた水や土砂が、平地に出て勾配が緩やかになることで一気に堆積するから。 | 2. 等高線の間隔が最も広い場所であり、雨水が地下に浸透して地表の土砂を浮かび上がらせるから。 | 3. 山頂付近に比べて気圧が高いため、強風によって土砂が押し流されやすくなるから。 | 4. 尾根に囲まれて日当たりが悪いため、地盤が常に湿っており、わずかな雨でも崩れやすいから。 |
|--|---|---|--|
- 問8 日本の気候区分のうち、瀬戸内地域の気候の特色を正しく説明しているものはどれか。なお、この地域は北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているものとする。（2019年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 1. 年間を通じて降水量が少なく、温暖で晴天の日が多い。 | 2. 夏は南東の季節風により降水量が多くなり、冬は乾燥した晴天の日が続く。 | 3. 一年を通じて降水量が多く、特に梅雨や台風の時期には湿った空気が流れ込み、大雨になりやすい。 | 4. 冬は北西の季節風の影響で雪が多く、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥して晴天が続く。 |
|------------------------------|---------------------------------------|--|--|
- 問9 長崎県の佐世保市から平戸市にかけて広がる「九十九島」周辺の海域では、複雑に入り組んだ入江と、海上に点在する多くの島々が織りなす景観を見ることができます。このような、奥行きのある湾と岬が連続して入り組んだ複雑な海岸地形を何と呼びますか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|----------|--------|-------|
| 1. 三角州 | 2. リアス海岸 | 3. 扇状地 | 4. 砂州 |
|--------|----------|--------|-------|
- 問10 山地から平地へ川が流れ出る場所に、上流から運ばれてきた土砂が堆積してできた扇形の地形を何といいますか。砂や小石が多く含まれ、水はけが良いという特徴があります。（2022年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 台地 | 2. 三角州 | 3. 扇状地 | 4. 砂丘 |
|-------|--------|--------|-------|
- 問11 日本の気候区分において、冬季（十二月から二月にかけて）の降水量が夏季よりも多くなり、しばしば大量の降雪が見られる日本海側の気候について、そのメカニズムを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、対馬海流の上を通る際に湿気を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため | 2. 小笠原高気圧から吹き出す南東の季節風が、黒潮の影響で暖められた空気を運び、山を越える際に雪を降らせるため | 3. 夏に発生した台風が日本海を北上する際、地形の影響で冬まで雲が停滞しやすくなるため | 4. 偏西風が一年中安定して湿った空気を運んでくるため、季節に関係なく日本海側では降水量が多くなるため |
|---|---|---|---|
- 問12 ある地点の気候統計において、1月の平均気温がマイナス5度を下回り、8月の平均気温が25度程度という、夏は冷涼で冬の寒さが極めて厳しい特徴が見られました。このような気候が日本で見られる背景や場所の説明として適切なものはどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 高知県の高知など太平洋側に位置しており、黒潮の影響で年間を通じて温暖な気候が続く。 | 2. 標高が3000メートルを超える高山地帯に位置しており、夏でも雪が残るほど気温が上がらない。 | 3. 石川県の金沢など日本海側に位置しており、対馬海流の影響で冬の気温は氷点下にはならない。 | 4. 北海道の旭川などの内陸部に位置しており、海から離れているため冬の冷え込みがより一層厳しくなる。 |
|--|--|--|--|
- 問13 川が山地から平地に流れ出る谷口付近において、上流から運ばれてきた砂や礫（小石）が堆積して形成された扇形の地形を扇状地と呼びます。この地形の斜面において、水田よりも果樹園としての利用が一般的である理由は何ですか。（2026年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 砂や礫が堆積して層を成しているため、水はけが非常に良いから | 2. 周囲が山に囲まれており、稲の生育に必要な日照時間が不足しているから | 3. 標高が非常に高く、平地よりも気温が低いいため稲作に適さないから | 4. 地表付近に常に水が湧き出ており、果樹の根が腐りにくいから |
|----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 災害発生時の浸水域や土砂崩れの危険箇所を把握し、安全な避難経路や避難場所をあらかじめ確認しておくため。	ハザードマップは、自然災害による被害を最小限に抑える「減災」の観点から作成されています。被害が予想される場所だけでなく、どこが避難場所として指定されているか、そこまでの道を通れば安全かを事前に知っておくことが、実際の災害時に迅速な行動をとるための鍵となります。
問2	答え 2 谷口において、流速が落ちることで土砂が堆積して形成された。	等高線が扇の骨のように広がる地形は扇状地であり、河川が山地から平地へ出る「谷口（くくこう）」に形成されます。これに対し、河川が海や湖に流れ込む「河口」に形成されるのは三角州です。扇状地は勾配が急に緩やかになることで土砂を運ぶ力が失われるために生じます。
問3	答え 2 強い風や気圧の変化による高潮の影響で、大規模な浸水被害が発生するリスクが高い。	埋め立て地は海面との高低差が少ないため、台風による気圧の低下や強風によって海面が上昇する高潮が発生すると、容易に海水が入り込み浸水被害をもたらします。また、地震の際には、その地盤の性質から液状化現象が起こりやすく、都市機能に重大なダメージを与えることが防災上の大きな課題となっています。土砂崩れや火山噴火は、一般的に山地や火山周辺のリスクであり、標高の低い埋め立て地の主な特徴とは言えません。
問4	答え 4 日本海側の気候	冬に北西から吹く季節風が日本海を渡る際に湿気を蓄え、日本の背骨となる山脈にぶつかることで、日本海側に雪や雨をもたらします。このため、雨温図では1月や12月の降水量が突き出して多くなる特徴があります。
問5	答え 4 大規模な噴火によってマグマが噴出した後、地下の空洞が崩落して大きな窪地となった。	カルデラはスペイン語で「鍋」を意味する言葉に由来しており、火山活動によって地表面が陥没することで生まれます。単なる火口の拡大ではなく、地下の支えがなくなることによる大規模な地盤沈下が原因であるため、内部に集落や田畑が作られるほどの広大な面積を持つことがあります。
問6	答え 1 扇状地	山地から平地へと地形が変化する地点では、河川の流速が落ちるため、それまで運ばれてきた土砂を支えきれなくなり、堆積が起こります。こうして形成された扇形の地形は扇状地と呼ばれます。これに対し、河口付近で流れがさらに緩やかになり、細かい泥などが堆積してできる地形は三角州であり、形成される場所の違いに注意が必要です。
問7	答え 1 急な谷を流下してきた水や土砂が、平地に出て勾配が緩やかになることで一気に堆積するから。	土石流は、急傾斜な地形において重力によって加速し、凄まじい破壊力を持ちます。この土砂混じりの濁流が、山の出口（谷口）に達して傾斜が緩やかになると、流速が落ちると同時に運搬されていた土砂や巨石が一気に広がりながら堆積します。この地形的特性により、谷の出口付近には扇状地が形成されることもあります。同時に大規模な土砂災害が発生しやすい場所でもあります。
問8	答え 1 年間を通じて降水量が少なく、温暖で晴天の日が多い。	瀬戸内地域の気候（瀬戸内の気候）は、北の中国山地と南の四国山地が湿った空気を遮る壁のような役割を果たすため、全国的に見ても年間降水量が非常に少ないのが特徴です。また、緯度が比較的低く、海に囲まれているため、年間を通じて温暖な気候となります。この「雨が少なく温暖」という特性を活かし、古くから塩田での塩作りや、オリーブ、かんきつ類の栽培が行われてきました。
問9	答え 2 リアス海岸	起伏の多い山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、谷の部分に海水が入り込んで形成される地形です。この地形は波が穏やかになりやすいため、真珠やカキの養殖に利用されることが多いのが特徴です。長崎県の九十九島のほか、岩手県の三陸海岸南部や三重県の志摩半島などが代表的な例として知られています。
問10	答え 3 扇状地	川が山地から平地に差し掛かる付近では、流れが緩やかになるため、運ばれてきた砂や小石が堆積します。これにより形成される扇形の地形を扇状地と呼びます。堆積物の粒が大きいため、雨水などが地下に浸透しやすく、水はけが非常に良いという性質を持っています。
問11	答え 1 シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、対馬海流の上を通る際に湿気を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため	日本海側の地域では、冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出します。この風が比較的暖かい対馬海流（暖流）の上を渡る際に水蒸気を補給して湿った空気となり、日本列島の中央にある山脈にぶつかって上昇することで、雪や雨を降らせます。そのため、雨温図では冬の時期の降水量が突出して多くなる特徴があります。
問12	答え 4 北海道の旭川などの内陸部に位置しており、海から離れているため冬の冷え込みがより一層厳しくなる。	問題文にある「1月の平均気温がマイナス5度を下回る」という数値は、北海道の中でも特に内陸に位置する旭川付近などの特徴をよく表しています。一般に、海から離れた内陸部は海沿いに比べて比熱の関係で冬の冷え込みが厳しくなり、夏と冬の気温差（年較差）が大きくなります。これに対し、金沢や高知などは温帯に属しており、冬の月平均気温が氷点下まで下がることは通常ありません。
問13	答え 1 砂や礫が堆積して層を成しているため、水はけが非常に良いから	扇状地は、川の勢いが弱まる谷口に大きな粒の砂や小石が積み重なってできています。このような地質は雨水が地下に浸透しやすく、非常に水はけが良いという特徴があります。水もちが悪い（水が溜まりにくい）ため、水を大量に必要とする水田には不向きですが、ブドウやモモなど乾燥した環境や排水の良さを好む果樹の栽培には非常に適しています。